

ダブブロック錠による 腎性貧血の治療を受けられる みなさまへ

編集協力：東京大学医学部附属病院
腎臓・内分泌内科 教授・診療科長
南学 正臣 先生



この冊子は、ダブブロック錠を服用される患者さんに、ダブブロック錠の服用方法や主な副作用をよく知っていただくためのものです。
お薬の服用方法や副作用についてきちんと理解することは、よりよい治療を行ううえでとても大切です。
ダブブロック錠の服用を始める前に本冊子をお読みください。

腎性貧血とは？

■ 腎性貧血とは？

腎性貧血とは、腎臓のはたらきが低下する**腎臓病が原因**となって起こる貧血です。

腎臓には**ホルモンをつくって分泌するはたらき**もあります。

腎臓がつくるホルモンの中には**エリスロポエチン**という赤血球産生をうながすホルモンがあります。腎臓病が進行し、はたらきが低下した腎臓では、**エリスロポエチンの産生・分泌が減ります**。そのため、**赤血球をつくる能力が低下**して貧血になります。

参考資料: Fishbane S et al. Am J Kidney Dis. 2018; 71(3): 423-435.

■ 腎性貧血の症状

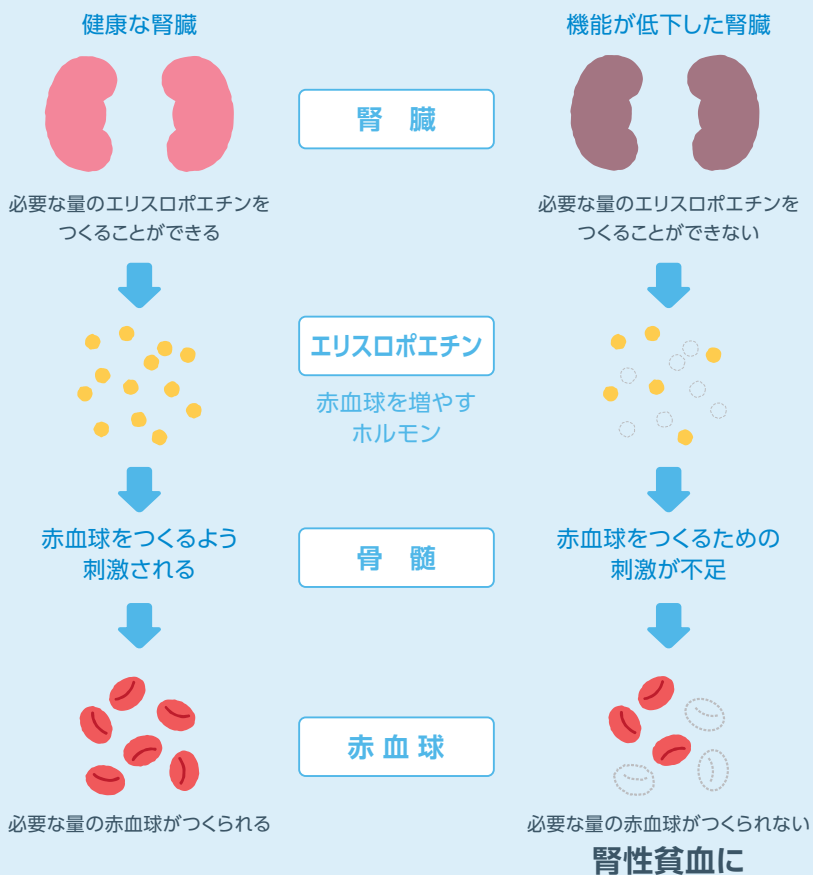
腎性貧血の主な症状として、**動悸や息切れ、めまいや立ちくらみ、全身けん怠感**などの症状が現れます。

貧血は徐々に進行するため、**ご本人が気がついていない**ケースがあるため、注意が必要です。



参考資料: 一般社団法人日本腎臓学会一般の方向けウェブサイト
<https://jsn.or.jp/general/kidneydisease/symptoms03.php> (2026年6月閲覧)

腎性貧血とは？



参考資料: Fishbane S et al. Am J Kidney Dis. 2018; 71(3): 423-435.

ダーブロック錠による腎性貧血の治療

■ ダーブロック錠とは？

ダーブロック錠は、腎臓などにあるエリスロポエチンをつくる細胞にはたらきかけ、**つくられるエリスロポエチン量を増加**させます。

エリスロポエチンは赤血球をつくるよう骨髄に刺激を送り、**赤血球の量を増加**させて貧血を改善します。

ダーブロック錠の種類

ダーブロック錠には1mg、2mg、4mg、6mgの4種類があり、1回に飲むダーブロック錠の種類と数は、**それぞれの患者さんの症状に合わせて主治医が決定**します。



1mg



2mg



4mg



6mg

血液検査について

血液検査（ヘモグロビン濃度）の結果を見て主治医は患者さんが飲むダーブロック錠の量を決定します。治療開始後も、**主治医の指示に従って定期的に血液検査を受けてください。**

ダブブロック錠を飲む前に

以下に当てはまる方は主治医にお伝えください。また、治療中に当てはまるようになった場合もお伝えください。

- 脳梗塞(脳の血管がつまる)、心筋梗塞(心臓発作)、肺塞栓症(肺の血管がつまる)と診断されたことがある、または治療中
- 高血圧の治療中
- 悪性腫瘍(がん)と診断された、またはがんの治療中
- 眼(網膜;眼の奥にある光を感じる場所)の病気と診断されたことがある
- 心不全と診断されたことがある、または治療中
- 肝臓が悪いといわれたことがある
- 妊娠中、または妊娠している可能性がある
- 授乳中

他のお薬との飲み合わせについて

お薬の中には、**ダブブロック錠との飲み合わせに注意が必要**なものがあります。

他のお薬をお飲みの方は、飲んでいて、**飲んで**いるお薬の種類を主治医または薬剤師にお伝えください。



■ ダーブロック錠の飲み方

ダーブロック錠は**1日1回**服用します。
コップ1杯程度の水またはぬるま湯で飲んでください。

飲むタイミング

ダーブロック錠は、毎日、同じ時間帯に飲むことが大切です。

主治医の指示に従って、毎日同じ時間帯に服用するようにしましょう。

なお、ダーブロック錠は、食事前、食事後にかかわらず飲むことが可能です。

また、血液透析を受けている患者さんでは、血液透析を行う日と行わない日にかかわらず、ダーブロック錠を飲むことが可能です。



こんなときは…

▶ 飲み忘れてしまった

飲み忘れに気付いた時点で、飲み忘れた分(1回分)を服用してください。
ただし、**次の服用時刻が近い場合は**、
飲み忘れた分をとばして、次の服用時刻に1回分を服用してください。



決して一度に2回分を服用しないでください。

参考資料：知っておきたい薬の知識：厚生労働省・日本薬剤師会(令和7年10月)
(<https://www.pmda.go.jp/files/000226365.pdf>)

▶ 主治医が決めた量よりも 間違えて多く飲んでしまった

すぐに主治医または薬剤師に
ご相談ください。



ダブブロック錠の副作用について

■ 起こりうる副作用

ダブブロック錠に限らず、お薬を飲むことにより効果だけでなく、副作用がみられることがあります。

ダブブロック錠による治療中に、特に注意が必要な副作用は、**脳梗塞(脳の血管がつまる)**、**心筋梗塞(心臓発作)**や**肺塞栓(肺の血管がつまる)**などの**血栓塞栓症**です。

これらの副作用のリスクを高める可能性のある要因の1つとして、ダブブロック錠の投与によりヘモグロビン濃度が必要以上に高くなる、急に上昇することなどが挙げられます。

以下のような症状が現れたら、すぐに主治医にご相談ください。
これら以外にも気になる症状や「いつもと体調が違う」と感じる事がございましたら、主治医または薬剤師にご相談ください。

脳梗塞(脳の血管がつまる)のおそれがある症状

- 突然頭がもうろうとする(意識が低下する)、意識がなくなる
- 突然しゃべりにくくなる、言葉が出にくくなる
- 突然片側の手足が動かしにくくなる
- 突然の頭痛
- 突然のめまい
- 突然の嘔吐 など



心筋梗塞(心臓発作)のおそれがある症状

- しめ付けられるような胸の痛み
- 息苦しい
- 冷汗が出る など



肺塞栓(肺の血管がつまる)のおそれがある症状

- 息苦しい
- 胸の痛み
- 血の混じった痰 など



網膜静脈閉塞(眼の奥の血管がつまる)のおそれがある症状

- 急に視力が低下する
- 目がかすんで見える
- 見えない部分がある など

深部静脈血栓症(皮膚から深いところにある静脈に血のかたまりができる)のおそれがある症状

- 脚の痛み
- 脚のむくみ
- 皮膚が青紫～暗紫色になる など

シャント閉塞のおそれがある症状(血液透析を行っている患者さんのみ)

- シャント血管が硬くなる
- シャント血管が痛くなる
- シャント音が聞こえない など

参考資料:患者向け医薬品ガイド用語集 ver4.00 (<https://www.pmda.go.jp/files/000275257.xlsx>)

その他に注意が必要な症状

- 網膜(眼の奥にある光を感じる場所)からの出血
- アレルギー症状(発疹、皮膚炎、じんましん など)
- 血圧の上昇(特に高血圧の治療の開始時や治療の変更時)
- 腹痛
- 便秘
- 末梢性浮腫(体重が増える*、手足のむくみ、目が腫れぼったい など)



*9ページ「心不全について」もあわせてご覧ください。

ダブロック錠の副作用について

■ 心不全について

心不全と診断されたことがある、または、治療中の方について、心不全の悪化・再発が起こるおそれがあります。

心不全のおそれがある症状

- 疲れやすい
- 体重の増加、むくみ
- 動くと息苦しい、息切れする
- 咳とピンク色の痰

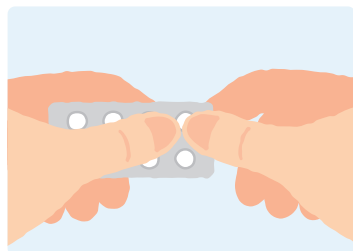
ダーブロック錠の取り扱いについて

■ ダーブロック錠の包装について

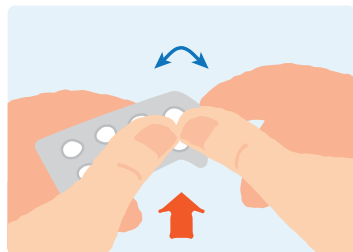
ダーブロック錠のPTPシートは乳幼児誤飲防止包装となっているため、**開けにくく**感じることがあります。

ダーブロック錠の開け方

- ① お薬の入っている凸部に左右の親指をのせる。



- ② 親指を起点にPTPシートを反らしながら、親指で凸部を**強く**押す。



- ③ PTPシートを折り曲げるように反らせることで、お薬が出しやすくなります。



ダーブロック錠の取り扱いについて

■ ダーブロック錠の保管方法

直射日光、高温、湿度を避け、乳幼児や小児の手の届かないところに保管してください。



1m以上の場所に
毎回片付ける



幼児の開けられない
容器で保管



幼児の見ていない
場所で服用

小児・乳幼児を含め、患者さん以外の方があやまってダーブロック錠を飲んでしまった場合は、主治医または薬剤師に連絡のうえ、対処方法をご相談ください。

病院・薬局名

協和キリン株式会社

DRQ1034A26H
作成年月2026年8月